

国東市立 安岐小学校

学力向上プランの概要

1. 学力・学習の現状

- (1) 平成30年度 国東市学力調査(12月実施)で全国平均正答率をクリアした項目は
・国語83%(10/12) ・算数100%(12/12) ・理科83%(5/6)
- (2) 令和元年度 国語・算数・理科の単元テストで期待得点以上の児童の割合を低学年90%以上、
中学年・高学年80%以上にする目標では
・国語63%(5/8) ・算数63%(5/8) ・理科80%(4/5)

【分析と対策】

- 校内研究で教科を絞らずにユニバーサルデザインを通して学ぶ楽しさを感じ、自ら学ぶ児童の育成について研修を深めてきた。特に焦点化・共有化を意識し授業改善を行ってきた。

算数では、中学年から躓く子が出てきており、わかりやすい授業に取り組むことはもちろんだが、授業の中でねらいが達成できているのか一人ひとりの児童をしっかり見取り、達成できていない児童については、補充指導及び個別指導の時間を確保し、全教職員で指導に当たっている。また、学期毎に単元テストの結果をまとめ全職員で共有している。

今後も、安岐小授業づくりスタンダードに沿った授業改善を全教職員が意識し、個別に目標を立て日常実践していくことと、躓いている単元をしっかり把握し、補充学習や個別指導を全職員で関わり指導できる体制づくりを継続していく。さらに、今年度から高学年部を中心に教科担任制を取り入れ、実践研究を行っている。

2. 学力・学習にかかる重点取組と取組指標

分担	重点的取組	取組指標
学校	○課題の解決に向けた主体的・対話的で深い学びの授業に取り組む。 ～「共有化」の工夫を通して～	①国語・算数・理科・社会では毎時間ペア・グループ学習を1回以上取り入れ、発言・発表の場を位置づける。 ②毎月「児童アンケート(発表と学習規律)」と「授業自己振り返りカード」の記入を行う。 ③学期毎に単元テスト結果データを共有フォルダに入れ、未達成の児童については全職員で補充学習や個別指導を行う。 (月曜・金曜の朝のチャレンジタイム、木曜・金曜の放課後学習)
家庭	○家庭学習の習慣化を図る。 ～安岐っ子ががんばり表の活用～	①毎日、家庭学習への声かけや見取りを行い宿題提出90%以上に取り組む。 ②毎月1週間の「安岐っ子ががんばり表」の記入・提出を90%以上にする。
地域	○学びの教室での補充学習や授業支援を行う。	①放課後学びの教室を年間30回以上実施する ②学校の要望があれば授業支援を行う。

効果のある取組事例

1. 授業改善と基礎・基本の定着

(1) 「ユニバーサルデザイン」の考え方を取り入れた授業実践

全ての児童が楽しく「わかる・できる」ように工夫・配慮された授業デザインを旨とした授業改善を行っている。

(2) 授業自己振り返りカード（セルフチェック）を活用した授業改善【資料①】

全職員が、毎月「授業改善5点セット」に沿った振り返りを行い、研究主任が集約・分析し授業力の向上に努めている。また、学期に1回互見授業を通して授業改善に向けた取組を行っている。

(3) 学習規律の徹底

毎月、「くにさきっ子学習十ヵ条」をもとに児童アンケートを実施し、結果をグラフにし掲示している。成果や課題を全校集会や学年部集会で紹介し指導している。

(4) 教科担任制の導入

2年生に音楽、3年～4年生に理科、5年～6年生に国語
社会・算数・理科・音楽・図工・家庭・体育で実施している。

(5) 単元テストの結果をもとにした補充学習の実施

毎週、月曜日と金曜日の朝の時間を「チャレンジタイム」として、また放課後を「個別指導の時間」として位置づけ、全職員が各学級に入り補充学習を行っている。



【授業の様子】

2. 思考力・判断力・表現力の育成

(1) 安岐小学校授業づくりスタンダード【資料②】

全職員が、「安岐小学校授業づくりスタンダード」をもとに、ペア・グループ学習を1時間の学習展開の中に位置付け、児童の思考力・判断力・表現力の向上を図っている。

(2) 学年部集会の実施

月1回低・中・高の学年部集会を行い児童相互で頑張っていることやよい行いを紹介し合い認め
る場としている。また、全校での取組を学年部で徹底している。

3. 児童の学習・生活意欲を向上させるための工夫

(1) 読書の取組

図書委員会から「お薦めの本の紹介」や「読書パズル」「読書新聞」等の活動を行っている。
また、読書を生活の中に繋げていくために「どーなつつST」の推進、読書への声かけを積極的に行っている。

(2) スリーマン活動の取組

本校は、伝統として児童会を中心に『スリーマン活動』に取り組んでいる。「ワンストップあい
さつのできるハローマン・いじめ0のピースマン・無言掃除のできるクリーンマン」を合言葉に明
るく・楽しく・安心して学べる環境づくりに取り組んでいる。

(3) 自力登校の取組

体力・集中力を付けるために自力登校を徹底している。PTAにも呼びかけ、家庭の目標の一つ
に掲げている。1学期末では97%の児童が自力登校できている。

(4) 児童アンケートの結果を紹介【資料③】

毎月の児童アンケートの結果をグラフにし、目標値との比較を行っている。成果や課題を全校集
会や学年部集会で紹介するとともに、児童が常に意識できるように掲示している。

4. 校内運営体制

(1) 1ヶ月ごとの検証・改善サイクル【資料④】

運営委員会・プロジェクト会議・職員会議を1ヶ月ごとの短期サイクルで教務主任・研究主任・生活指導主任・体育主任を中心に検証・改善を行っている。

(2) 学年部会を実施

低学年部・中学年部・高学年部を組織し、毎週金曜日の放課後実施している。また、児童の学年部集会も月1回行っている。

5. 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の取組

学校の教育活動が充実・発展していくために教育活動や環境整備等について保護者・地域が積極的に学校支援を行っている。【奉仕作業・ちょボラデー】

(1) 拡大学校運営協議会

各学校で開催している年4回の学校運営協議会に加え、年1回拡大学校運営協議会を開催し、中学校ブロック内での各学校（安岐中・安岐中央小・安岐小）の取組を共有しながら、共通して取り組む内容を精選し、ブロック内の全家庭へパンフレットを配布している。

(2) PTAと連携した取組

PTAとしてこの1年間のスローガンを決め、専門部毎に活動テーマを話し合い、具体的取組を掲げながら実践している。

PTAスローガン「親子でめざそう!! スリーマン」

・研修部「親子であいさつハローマン！」

「親子で話そうピースマン！」

「親子で片付け上手クリーンマン！」

・広報部「広めよう! 親子でめざそう!! スリーマン」

・生活部「親子で安全・環境美化に取り組もう」

・保体部「コミュニケーション 心と身体のストレッチ」

また、家庭での重点取組として

①宿題すませてスッキリ登校 「毎日の声かけと見取り」

②家庭でもばっちりスリーマン 「安岐っ子がんばり表」

【資料⑤】

③朝ごはんしっかり食べて自力登校 「児童アンケート」

の3つを「学校評価4点セット」に掲げ取り組んでいる。

(3) 地域と連携した取組

①毎週火曜日の朝の時間（8:15~8:30）地域の方（読み聞かせスタッフ13名）を迎え「読み聞かせ」を行っている。

②月3回水曜日の放課後（14:45~16:00）9名の学習アドバイザーを迎え、年間30回以上補充学習を行っている。

③生活科や社会科、理科の外部講師として、環境教育や情報教育のアドバイザーとして、また体育の補助として地域の方の協力を得ている。

④安心・安全な教育環境づくりのため、「老人クラブ」が登下校の見守り、学校支援団体「あ組」が庭木の伐採・駐車場の草刈り・校舎内の清掃等を積極的に行ってくれている。



【朝の挨拶】



【PTA役員会】



【学びの教室】